

びじゅつって、すげえ! 2023-2024

これをやってみよう!



目次

- 2 これをやってみよう! 「すげえ!」を楽しむために
- 3 描いてみよう!
- OPAM美術部……………視て描く
記憶で描く+リロッキー
想像で描く
- 5
- 6
- 7 OPAM美術部+α……………木島隆康によるテンペラ画ワークショップ
- 9 OPAM美術部番外編……………自主制作・壁画を描く!
- 10 ギャラリーツアー のえとえの
- 11 遊んでみよう!
- 《体感+鑑賞》……………みんなの土曜アトリエ
びじゅつかんの旅・旅じたく
- 15
- 17 《つくって遊ぶ》……………アトリエ・ミュージアム
出前ワークショップ
- 21
- 23 《身体パフォーマンス》……………劇場化って、ナンダ? [穴井豪・鈴木広志・江川良子・市川平]
美術館を劇場化する
学校を劇場化する
- 25
- 27
- 31 《特別ワークショップ》……………猫をめぐるワークショップ
海賊船と人魚たち
水を覗く・絵の具にまみれて青くなる・パンブードームに挑む!
- 33
- 34
- 35 いろいろ知ろう! — 素材・技術・表現
- 《テンテン・ヨルキン》……………朝のおとなの1010講座・夜のおとなの金曜講座
- 37 《教育普及活動展示》……………石って、すげえ!
- 38 《特別ワークショップ》……………青の秘密からはじめよう!
- 39 《アーティストとの出会い》……………SAI「フォトグラファー 撮影の現場から」
高橋賢悟「金属は熔ける」
- 40
- 41 《Hands on Works》
- 43 「なんとなく好き」を増やす
- 45 実施一覧

教育普及のキャラクター
ちゃっぴーです!

思わず「すげえ!」と口に出たこと、ありませんか?
そんな出会いと感動は、身体も心も元気にします。
大分県立美術館(OPAM)では、ほとんどの週末にワーク
ショップを行っています。対象は小さい子どもから年配の
方まで、内容によって異なります。そして、なか
なか美術館に来られない子どもたちの地域
には、アウトリーチとして「出前ワークショッ
プ」や「びじゅつかんの旅・旅じたく」を、学校
や園を対象に行っています。

これらの講座には、好奇心を触発し、感性の育成や知識欲
を刺激するという目的もありますが、実はとってもシンプ
ルに、美術は楽しいと感じてほしいと思って行っています。
身の回りにあるモノやコトを楽しむと、独自の視点が生
まれ、それはやがて生きる力を強くすることにつながります。
2023年度に行った講座をまとめました。写真だけではなく、
二次元バーコードから動画も見られます。まずは見て
ほしい。面白そう!と思うものはありますか? やってみよ
う、つくってみようと思うものがあったら、ぜひチャレンジ
してみてください。でも、大変そう、難しいなって思ったとき
は、美術館に来てください。一緒にやりましょう!

これをやってみよう! 「すげえ!」も 楽しむために



描くためには、よく視ることが大切。

描いてみよう

OPAM 美術部

3年目の活動に入ったOPAM美術部。今年度は、継続部員+新入部員計19名で始まりました。今年度のテーマは「ペインティング/描く」です。

「描く」ことを、「見て描く」「記憶で描く」「想像で描く」という3つにわけま

した。何かを描くためには、モノをよく視ないとはいけません。まずはモノを見るトレーニングであるデッサンからスタートし、クロッキー(速写)、スケッチ(写生)、ドローイング(習作)など、さまざまな描画法を体験。そして古典絵画技法のテンペラ画にもチャレンジしました。



Point!

ここでいう「見て描く」は、スケッチや写生をはじめ、そっくりに描こうとする気持ちが強いものです。「記憶で描く」は、運動会や遠足の思い出を描くことに代表されます。「想像で描く」は、未来のことをイメージして描くだけでなく、抽象的な絵画も含まれます。

木炭デッサン

木炭は、描く・消すことが簡単のため、対象物と画面を見比べて描きなおすには最適な描画材です。はじめに、人物をモデルに木炭デッサンを行いました。人物を描くのに大切なのは、「形/プロポーション」「量感/ボリューム」「塊/マッス」「動き/ムーヴメント」を視ることです。



鉛筆デッサン

鉛筆は、濃淡(10H~10Bまで22種類)、そして持ち方・角度により、硬い、やわらかい、透明など、さまざまな質感を描くことができます。ガラス瓶や布など静物デッサンを鉛筆で行いました。



ドローイング

視ることを重視しつつも、デッサンよりは自由に、描いて、描いて、描きまくる。自分の手をモデルに、形だけ(輪郭のみ)をとらえ、筆で、割りばしペンで、指でと、道具を変えて、最後は手元を視ずに描きました。



木炭デッサンと鉛筆デッサンとドローイング

視て描く

Point!

デッサンでは姿勢を正し、モチーフ、イーゼル、そして描く腕(利き手)の位置関係が重要です。これもモノをしっかり視る・見比べるためです。



描いてみよう!

記憶で描く+クロッキー

想定デッサン

描くための技術の一つに触れる「明暗法」のトレーニングのため、おそらく食べたことのある身近な果物・野菜を取り上げて描きました。

リンゴを赤い紙に、赤・白・黒のクレヨンを使って描こう!

Point!

まずは簡単なシルエットを描き、暗いところ、明るいところを想像しながら描きました。

バナナを黄色い紙に、黄色・白・黒のクレヨンを使って描こう!

ナスを紫の紙に、紫・白・黒のクレヨンを使って描こう!

クロッキーは速写。丸くなって座り、向かい側の人を描きました。

Point!

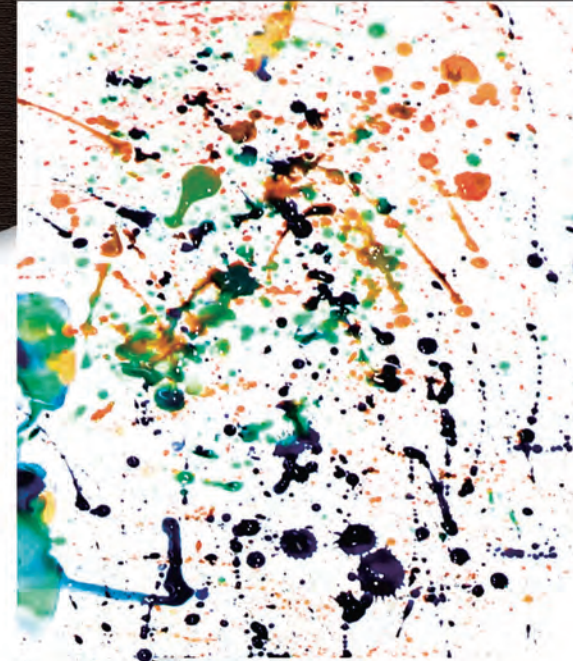
「明暗法(キアロスкуро)」のほか、距離によってモノの大小を描き分け、平行線が集まることを用いた透視図法「線遠近法」、遠くの風景を少し青味がかった描く「空気遠近法」も、描くためのテクニックです。



想像で描く

色遊び

「想像で描く」方法は、いっぱい。想像から創造へ発展させるため、気持ちを行為・色・形に託す描き方もあれば、色や形を何かのモノや意味に見立てる場合もあります。偶然生まれる色や形が、別なモノに見立てられて変化する可能性を探るため、絵の具遊び、色遊びなど、表現技法をいくつか試しました。



いろんな技法を
見よう!

木島隆康による テンペラ画ワークショップ



卵を展色材(接着剤)とするテンペラ画は、14~15世紀に盛期を迎えた古典技法のひとつです。細かい準備が必要で、制作に時間がかかりますが、色の鮮やかさや金の輝きは、他の技法では表現できない特別なもの。このテンペラ画に挑戦するため、修復家の木島隆康さんを講師に迎え、3回のワークショップ&レクチャーを行いました。これらは「OPAM美術部+α」とし、一般の方々もレクチャーの聴講やワークショップの見学ができるようにしました。



各回の前半はレクチャーで、1回目「技法史からみた美術史」では、西洋絵画の歴史と代表作をフレスコ画・エンカウスティック・テンペラ画・油彩画から見ていきました。2回目「テンペラ画」は、教材[Hands on Works]から、フラ・アンジェリコ《受胎告知》の制作工程見本(左の写真2点/木島さん制作)と、木島さんに大分県の自然物をモチーフに描いてもらった作品(p.42)を、豊富なスライド資料とともに鑑賞しました。3回目「絵画の修復」では、木島さんの修復家としての仕事のお話を伺いました。

各回の後半は
テンペラ画の下地制作にチャレンジ!

テンペラ画は作業工程が多く、今年度のワークショップではまず下地づくりを行いました。3回の実地指導に加えてZOOMによる指導で、麻布貼り・石こう塗りから金箔貼りを目指します。



1 シナペニヤの混合パネルを紙ヤスリで磨きます。ツルツルにするのではなく、キズをつけることで麻布を固定する補助になります。



2 ウサギ膠(にかわ)を塗ります。本物のウサギ膠はなかなか手に入りません。今回は木島さんに提供していただきました。



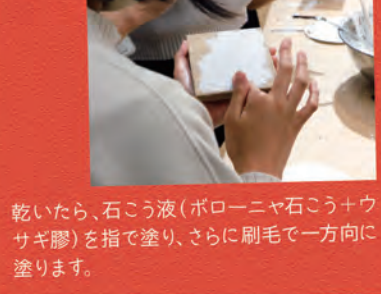
3 ウサギ膠の乾き待ちの間に、麻布をカットします。
※麻布は定規がなくても、布目に沿って鉛筆を滑らせるように引けば、まっすぐな線が描けます。



4 麻布をゆがまないようにウサギ膠で貼ります。



5 乾いたら、石こう液(ポーロニヤ石こう+ウサギ膠)を指で塗り、さらに刷毛で一方向に塗ります。



6 生乾きになったら、石こう液を直角方向に刷毛で塗ることを7~10回繰り返します。



7 乾いたら、2~4Bの鉛筆で黒くなるまで塗ります。側面も塗ります。



8 鉄板で削って平らにします。鉛筆が見えなくなるのが、平らになった証拠。



9 凹凸を作りたいところにレリーフを施します。今回はアーチが基本です。



10 ゆがんだり、出っ張ったりしたところは、紙やすりで形を整えます。



11 箔下とのこ(ポーロ)を塗ります。金箔は透けるので、下地が白いと軽い感じになります。箔下とのこの重厚な赤があると金が見えます。



12 精製水にアルコールを混ぜたものを塗り、金箔を貼ります。



13 メノウ棒で金箔を磨きます。下地づくり完成まで、もうひと息!



今年度はここまで。次は彩色に挑戦します。身近にある大切なモノを原寸で描きたいと思います。デッサンしてからトレースします。



木島隆康 [画家・修復家・東京藝術大学名誉教授]

1951年北海道生まれ。創形美術学校修復研究所および修復研究所21にて油彩画修復に携わる。東京藝術大学大学院美術研究科保存修復油画研究室で油彩画修復と金地テンペラの技術指導を中心に、文化財保存分野の人材育成に携わる。これまで「パリ日本館藤田絵画修復事業」に際し修復家としてパリに派遣されたのをはじめ、絵画修復の専門家として数々の重要な油彩画作品の修復を手掛けてきたほか、迎賓館赤坂離宮や東京大学実田講堂等の建物装飾としての油彩画作品の修復を牽引してきた。OPAM教育普及には「Hands on Works」としてフラ・アンジェリコ《受胎告知》の部分模写とその制作工程見本、そしてテンペラ画3点がある。

よく視ると、 いろいろなものが みえてくる

近代洋画の楽しみ方

ギャラリーツアーのえとえの



企画展「住友コレクション名品選 フランスと日本近代洋画」で、展覧会担当学芸員「のえ」(木藤野絵)と教育普及エディター「えの」(榎本寿紀)のダブルトークによるギャラリーツアーを行いました。作品との距離を変えながら丁寧に視ること、描かれた時代や作家の意図などの解説を掛け合わせた進行でスタート。途中からの参加者も巻き込みながら展示室を巡ると、絵の具の盛り上がりや光沢、そして作品の意味など、一人では気づけなかったことが楽しめたという感想がありました。



自主制作

通常の活動を休んでしまい、遅れを取り戻すために美術館に来る部員もいれば、「こういうものを描きたい!」と制作意欲のある部員も、自主制作に来ます。思い思いに絵の具やペンで描いて過ごす部員、パステル画を描きたいと、混色やぼかし表現、模写などをトレーニングする部員もいます。



壁画を描く!

iichiko総合文化センターの改修工事に伴う仮囲いに、絵を描きませんか? という、なんと嬉しい話がきました。そこで昨年度からの継続部員でスタート。テーマは「音の広がる街」。自分の名前をローマ字で書き、その文字が読めないように建物や動・植物などに換えながら、また、隣で描いている部員の絵とのつながりも考えながら描きます。

あいにく初日は雨だったので、イメージをふくらませるため模造紙にドローイングを行い、ゴールデンウィークから本格的にスタート。描いている最中、だんだん絵が増えていくので前を通るのが楽しみ、という声も多く聞かれました。夏場は猛暑のためお休みして、11月に再開。12月にはいろいろな音が聞こえてくる楽しい壁画が完成しました。

Point! 絵がつながるように、隣の部員の絵も、よく「視」ないとはいけません。描くことと視ることは、一緒なんです。



描いてみよう!
OPAM美術部
番外編

ASMS

ドキドキ、ワクワクしながら真剣に遊ぼう！

コロナ過も落ち着いてきた2023年春、体感と鑑賞を組み合わせたワークショップ「みんなの土曜アトリエ」に参加者が増えました。体感・工作ワークショップと、コレクション展示室の鑑賞ワークショップを組み合わせた90分のコースで、午前中は4歳からの未就学児とその保護者が中心、午後は小学生から一般までが対象です。



遊んでみよう！

みんなの土曜アトリエ

体感
鑑賞



Point!

布を持ってバンザイしてそのまま手を離す！
本気でみんなの呼吸が合えば、
布は空中で巨大なクラゲになっちゃいます。



出前ワークショップでも、
ふわもこの遊びです。

これをやってみよう！ | ひじゅって、すげえ！ 2023-2024

ふわふわ、もこもこの気持ち

復活！



OPAMのワークショップの中で、リクエストNo.1の「ふわふわ、もこもこの気持ち」、通称「ふわもこ」が、コロナ禍での長いお休みを経て復活！初めて参加の人も、4年ぶりの人も、驚きと笑顔がいっぱいです。



Point!

布をもって小さく揺らす。大きく揺らす。
みんなの呼吸を合わせてバンザイから一気にしゃがみこめば、
大きな卵のようなお饅頭のような形になります。

ふわもこ鏡餅

ダイダイの帽子をかぶって、中心に座る「ふわもこ鏡餅」。年末年始の特別ワークショップとして、6日間連続で延べ234名が参加。お父さんやお母さんも子どもたちと一緒に、ふわふわ、もこもこ、楽しみました。



遊んでみよう! みんなの体感鑑賞



ころころチューブ

透明チューブをつなげて迷路のようにすれば、中に入れたビー玉が行ったり来たり、ころころと動きます。



ぱたふわドラゴン

みんなで力と呼吸を合わせれば、竜巻のように紙吹雪が舞い上がり、Point! 小さい力でパタパタするのがコツ。見えない渦が生まれるので、一気に力を強めます。

体感・工作ワークショップ



リング・リング・リング

人が向かって投げないでね。転がす、回す、投げる、つなげる。大小さまざまな輪っかで、ひたすら遊びます。

注意!

人に向かって投げないでね。

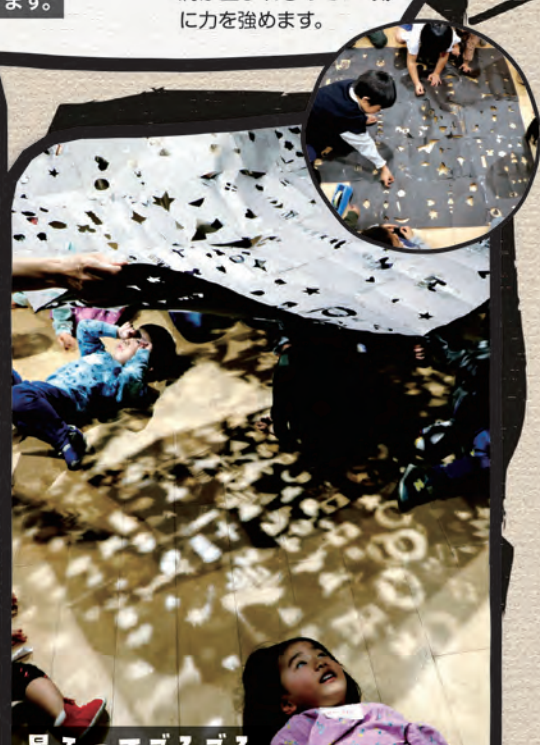


ぼわんぼわん

大きなビニール袋は、空気の形を楽しもう。Point! ビニール袋をふくらませ、ぼわんぼわんと舞い上がらせます。

Point!

大きなビニール袋は、アイロンで溶かしながら接着して作ります。



星ふってごごろ

黒い紙に穴をあけて、つなげるだけ。これだけで影が美しい。

Point!

二つ折りにしたところから切れればあけやすい! 天井のライトの数を増やせば、影の数も増えます。



鑑賞ワークショップ



手や体を動かした後は、コレクション展示室へ。

毎回2~3点を「一緒に見る」を基本に、距離を変え、モチーフや色、そして空間など、作品によって話題を変え、丁寧に作品を視ます。こうして作品を楽しんでいると、あっという間に時間は過ぎていきます。体感・工作ワークショップの後の鑑賞は、心身ともにリラックスして作品を視ることができます。この体験を積み重ね、自身の視点を作っていくと、どんな展示会も自分の目で見るできるようになって、楽しめます。



ごめんなさい

アトリエや展示室で事故がないように、「みんなの土曜アトリエ」は定員を先着30名程度にしています。そのため開館前から美術館入口前に並んでいる人たちも…。定員オーバーで参加できなかった皆さん、ごめんなさい。



遊んでみよう!

体感鑑賞

びじゅつかんの旅・旅じたく

学校と美術館を行き来するワークショップ「びじゅつかんの旅・旅じたく」。体感ワークショップ「びじゅつかんの旅」と、鑑賞ワークショップ「びじゅつかんの旅」を組み合わせ、いわば「みんなの土曜アトリエ」の学校連携バージョンです。体験した子どもたちには、今度は家族と一緒に、週末や長期のお休みに来てほしいと思います。



廊下の教材ボックスや建物をキョロキョロ見回りながら、コレクション展示室では丁寧に作品を視ます。



どんぐり幼稚園・しいのみこども園 / 豊後大野市

びじゅつかんの旅じたく

透明なものを積んで遊び、街をつくりました。フィルムシートは家に見立てて一緒に並べます。最後は懐中電灯でピカピカに光らせました。



Point!

ペットボトルの上下をカットして筒状にし、切り口にアイロンをあてると溶けて丸くなります。これを積んで光をあてると、とってもきれい!

びじゅつかんの旅

オリエンテーションではアトリエ中を見回します。ガラス面に、天井に、動物を発見できるかな? 部屋を暗くすると、今まで気がつかなかった蓄光シールの動物や星が輝きだし、大きな歓声が上がります。これはよくモノを見るための準備運動のようなものです。



Point!

一つの作品を、近寄って・離れてを繰り返して視ると、発見が多くなります。

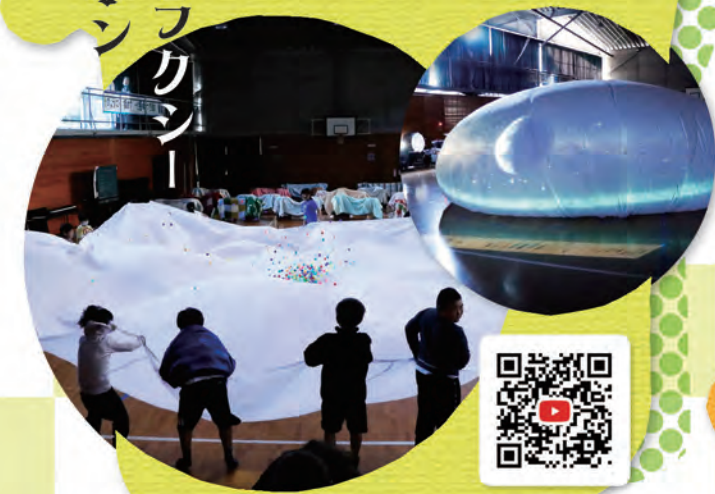
みんなへお願い! 展示室では、さわらない・走らない・大きな声を出さない、という約束事を守ってね。



中津市立上津小学校

びじゅつかんの旅じたく

「ふわもこ」(p.11-12)に宇宙の映像を投影して、中と外から眺めたり、たくさんのピンポン玉を布の中で跳ねさせました。子どもたちの興奮は止まりません。



びじゅつかんの旅

同じ色でも筆の使い方、塗り方で空と海を描き分けている。色だけでなく、紙の凸凹で模様が見える。よく見ていたら、次々と不思議なモノが見つかった。みんな好奇心いっぱい作品を視ました。



海辺こども園 / 日杵市

びじゅつかんの旅じたく

紙を二つにたたんで積み重ねる。たったそれだけですが、いつの間にか、塔ができ、壁ができ、街になっていきました。



Point!

厚い紙を使うと、しっかり立ちます。

びじゅつかんの旅

美術館で紙コップを積み重ねて遊んだ後、コレクション展示室に行きました。作品と目線を合わせたり、同じポーズをしてみたり。彫刻はのそき込みながら表情を確かめました。



遊んでみよう! つくって遊ぶ! 手を動かそう

どなたでもワークショップ アトリエ・ミュージアム みんなでつくろっ!

美術館に来た人が、ちょっと手を動かすことで、来館の印象を少しでも深く感じてほしいと、「アトリエ・ミュージアム みんなでつくろっ!」を開催しています。20~30分程度の工作ワークショップなので、学校や家でもつくってみてください。



にゃんこをさがせ



使うもの

透明シート、油性マジック、黒い紙、白い紙、ハサミ、敷紙



つくりかた

- 1 透明シートの上に油性マジックで、猫を中心に絵を描きます。
- 2 白い紙で懐中電灯が光を照らしているようにつくります。
- 3 透明シートに黒い紙をはさみこくと、絵が見えなくなります。懐中電灯の紙を差し込むとそこが明るくなるので、猫を探して遊びましょう。



虹色さんご

使うもの

アルミ箔、油性マジック、小石、敷紙

Point!

アルミ箔を丸める前に色をぬると、しっかり色がつきます。



クラゲ・ストラップ

使うもの

ピンポン玉(カットして上部に穴をあけておく) 油性ペン、敷紙、色つきシール、ハサミ、テグス、刺繍糸、毛糸、ビニールテープなど、ひも状のもの

つくりかた

- 1 ピンポン玉に模様を描いたり、シールを貼ったりして、クラゲ本体をつくる。
- 2 テグスをピンポン玉の上部から通し、その先に輪っかをつけて、毛糸などひも状のものを結びつける。
- 3 テグスが抜けないように、クラゲの上側に結び目をつくられば完成です。



Point!

美術館では、ワークショップでつぶれてしまったピンポン玉を再利用してつくりました。ピンポン玉がなかったら、半球状のモノなら何でもOK。ゼリーやプリンなどのカップを使ってみましょう。



つくりかた

- 1 アルミ箔(5×3cmくらい)を丸めて細長くして、サンゴの枝を4~8本つくります。
- 2 2本まとめてねじったり、さらに1本加えてねじりたりしながら、枝分かれを増やします。
- 3 アルミ箔で小石を包みながら、サンゴの枝も一緒に取りつけます。
- 4 色・模様をつければ完成です。



パンプキン・モザイク

カボチャのタネは捨てないで! 面白いけど、ここでは絵を描こう。台紙に貼ると素敵です。



二人がこども

カボチャのタネを2粒セットで描けば、トランプの神経衰弱みたいに遊べます。



にゃんぱっく

もみ紙にした障子紙を二つ折りにして、猫の輪郭を描きます(完成予想より大きく描こう)。輪郭をハサミで切って、まわりをのりで貼り合わせます(頭のところは残します)。裏返しにしてから、しっかり猫の顔や模様を描いて、紙テープを貼ればできあがり。

海からのおくりもの

色とりどりの大小の真珠がすてき



二つ折りにした色画用紙を貝の形にカットして、色や模様を描きます。切り込みを入れてのりで貼ると、盛り上がってまるで本物の貝のよう。アルミ箔を丸め、硬い所でこすって、ピカピカの真珠をつくれれば完成です。

Point!

色画用紙と色鉛筆の組み合わせで、いろいろな表情の貝ができます。



竜宮城の台所

浦島太郎が亀に連れられてやってきた竜宮城。おもてなしのご馳走を想像して描いてみよう!



Point!

昔話の裏方を想像してみよう。他にも「鬼ヶ島の財宝が眠る宝物殿」「かぐや姫が月に帰る乗り物」などはどうか?

魔法のお菓子

落ちている石をアルミ箔で包んでみる。指先でこすってピカピカにしたり、油性マジックで模様を描けば、魔法のお菓자에早変わりです。



無限連鎖風景



さらに! 切り込みを入れて、どんどんつなげていけば、風景はどこまでも広がります。

割りばしを鉛筆削りでとがらせ、そのとがった割りばしで画用紙に絵を描くと紙がへこみます。軽く持った色鉛筆で、少しずつ色を重ねてめりましょう。すると、割りばしで描いたところが浮き出てきます。



きやたぴらんらん

筒状の透明フィルムに、スチレンボードを細く切って貼ればできあがり。板を板にすれば、くるくる回りながら走ります。油性マジックで、楽しく色・模様をつけよう!



遊んでみよう! つくって遊ぶ! 手を動かそう

出前ワークショップ

子どもたちだけではなく美術館に来られない地域の学校へ、出かけて行くアウトリーチ(出前ワークショップ)。ここでは、素材や絵の具に触れ、手を動かすことで想像と創造を触発するワークショップを数多く行ってきました。今年度の中から2つを紹介します。いずれも学校や家庭で簡単にできるので、ぜひやってみてください。



ぱたぱたちょうちょう

デカルコマニー(転写)をして、ユラユラ、パタパタ動くちょうちょうをつくりま

使うもの

透明フィルム(A4サイズくらい)2枚、アクリル絵の具、パレン、ハサミ、セロハンテープ、タコ糸約60cm、敷紙

1

透明フィルムに絵の具をチューブから直接のせて、二つ折りにし、パレンでこすりま

2

開くとデカルコマニーのできあがり。その上にもう一枚の透明フィルムをかぶせます。

3

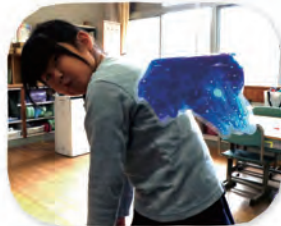
ちょうちょうの形にカットします。

4

タコ糸をセロハンテープで貼って完成です。

Point!

自分だけのちょうちょうの特性や生態を想像しながら、色つきシールや油性マジックで模様を描き足してみま



ここでも遠近法を使って、ちょうちょうに変身してみよう!



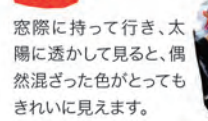
糸を持って上下に動かしてみよう!

その1



遠近法を使って遊んでみよう! 遠くに誰かが立ち、フィルムをかざすように見えます。

その2



窓際に持って行き、太陽に透かして見ると、偶然混ざった色がとってもきれいに見えます。

CS communication stick



コミュニケーション・スティック

長さ約60cmの棒を1人1本持ち、指だけで支えて落とさないように動きます。指先に神経を集中して相手の力を感じないと、落としてしまいます。

使うもの

長さ約60cmの棒、水性ペン、糸、両面テープ、ハサミ、敷紙

つくりかた

1

両手の人さし指で棒を支えて準備運動です。左右、上下に動かしてみま

2

初めは2人1組で、1本の棒を利き手の人さし指で支えあい、どちらか一方が先導して動いてみま

3

慣れてきたら、両手の指でやってみま

4

3人で、5人で、と人数を増やしてみよう。人数が増えたと、より複雑な動きと形になります。音を鳴らしたり、棒の代わりに糸でやってみたり。エアースティックで(そこに棒があることをイメージして)やると、まるで身体パフォーマンス!

5

水性ペンで模様を描いたり、糸を巻いたりして、自分だけのオリジナルの棒にしよう。小学校高学年や中学生以上では、身度尺(体のサイズ)でストライプにしても素敵です。

身度尺とは?

身度尺とは、もともと道具などを、使う人の身体の寸法に合わせて、使いやすく考えられた尺のことをいいます。ここでは自分の身体の部位のサイズ(足の裏のサイズ、肘から手首までなど)を使ってみま



遊んでみよう!

身体

パフォーマンス

パフォーマンス

パフォーマンス

パフォーマンス

パフォーマンス

パフォーマンス

パフォーマンス

パフォーマンス

パフォーマンス

学校と美術館を、劇場化しよう!

いつも過ごしている学校の階段や体育館、そして美術館のアトリエを、身体で、モノで、まったく異なる舞台空間にしました。劇場化は、何かをつくるワークショップでも、作品や舞台を鑑賞することでもない、まったく新しい〈場所〉と〈時間〉に出会うこと。インスタレーション&パフォーマンスで身体と感覚を刺激します。「出前ワークショップ」「ひじゅつかんの旅じたく」「ひじゅつかんの旅」の中で、高校生、中学生、園児が、異なる場所と時間の劇場化にチャレンジしました。

いつもの空間が異空間に

劇場化ついで、パフォーマンスはナンダ?

講師プロフィール



穴井 豪 (コンテンポラリーダンサー)
Go Anai

1980年大分県生まれ。1999年からダンスを開始。2004年コンテンポラリーダンスカンパニー「Leni-Basso」のメンバーとして世界中で公演。2009年フリーランスに。ミュージカル、PV、CM等に出演する。2012～2016年「石井竜也コンサート」振付・出演。2015～2018年「スーパー歌舞伎IIワンピース」(市川猿之助主演)では振付を担当し、自身も出演する。2018年、大分県国民文化祭のオープニングステージでは総合演出・振付を、東アジア文化都市2022大分県 閉幕行事の創作舞台「ムジカと生きる」では総合監督と演出を担当した。



鈴木 広志 (ミュージシャン)
Hiroshi Suzuki

1979年埼玉県生まれ。サクソフォン奏者・作曲家。クラシック音楽で培った技術を基に、ポップスやジャズ、ワールドミュージックまで自由自在に行き来した活動を行う。大橋トリオ、椎名林檎、くるり、ゴンチチ、小野リサ、清水靖晃、大友良英、林正樹らと共演を重ねる。作曲家としては国宝《上杉本洛中洛外図屏風》をはじめ、アーティストやダンサー、ショーや展覧会とのコラボレーションを重ねる。NHK連続テレビ小説「あまちゃん」、大河ドラマ「いだてん」ではテーマ曲・劇中音楽を演奏。東京藝術大学卒業。



江川 良子 (ミュージシャン)
Ryoko Egawa

1978年千葉県生まれ。12歳よりサクソフォンを始める。ソロ、オーケストラ、吹奏楽、映画やCMレコーディングの分野での活動の他、さまざまなアンサンブルに参加し、日本国内各地での公演・海外公演・CDリリースなども行っている。また、デュオリサイタルを企画・プロデュースし、アレンジや委嘱作品を含めたサクソフォンの新しいレパートリーの開拓にも力を注いでいる。東京藝術大学卒業、同大学院修了。



市川 平 (特殊照明作家)
Taira Ichikawa

1965年東京生まれ。1988年頃より現代的なモチーフを選び、彫刻家でありながらさまざまな素材、要素を取り入れ、SF的な物語性を感じさせる作品群をつくり続けている。2015年より特殊照明作家と名乗り、彫刻家のフィールドに縛られない活動を開始。自作の移動光源装置を用い、自身が制作した造形作品や、他の作家の作品、周辺の建造物を照らすことで、見たこともないような動きをする光と影の表情をつくり、造形作品や空間の新たな魅力を引き出す。武蔵野美術大学大学院修了。

遊んでみよう! いつもの空間が異空間に—身体パフォーマンス 美術館を劇場化する

にしきこども園/中津市 〈びじゅつかんの旅〉
講師:穴井豪(コンテンポラリーダンサー)、鈴木広志(ミュージシャン)
江川良子(ミュージシャン)、市川平(特殊照明作家)

美術館のアトリエを 変えちゃおう!!



びびVisionで見られます

びじゅつかんの旅じたく 「今日は積むぜ!」

こども園でウォーミングアップ

みんなで美術館へやって来る「びじゅつかんの旅」の前に、「旅じたく」として、こども園で身体を動かすワークショップを行いました。石や木っ端、紙コップ、プラスチックコップ、紙管を積むと、あつという間に、部屋全体に高い塔や橋ができ、街が広がります。最後は紙管を持って自然に声や音を出し始める子どもたち。すでにこども園が劇場化されているようです。



どんどん高く積んで街ができます



びじゅつかんの旅 「始まりのパフォーマンス」

美術館へ



始まりは講師4名によるパフォーマンス。部屋が暗くなり、市川さんによる照明が回り始めます。見回すと、紙管の柱や布が吊ってあります。その中で鈴木さん・江川さんの演奏と、穴井さんのダンスが始まりました。

みんなでインスタレーション

この部屋をもっともっと変えちゃおう。「びじゅつかんの旅じたく」で使った石や木っ端の代わりに、大きな段ボールや太い紙管、チューブ、フラフープなどを使って、大掛かりなインスタレーションを行いました。1時間ほど積んで遊んだ後、部屋が段々暗くなり、音が鳴り始めると、リズムに合わせて子どもたちの身体が自然と動き出します。その音と動きに光も反応します。



見学に来たお父さん、お母さんも、インスタレーションに参加。



展示室へ

お昼ご飯の後、コレクション展示室へギャラリーツアーに。春夏秋冬の景色を見比べ、風景の中にある動物を探します。色の混ざり具合も距離を変えながら確認しました。



午後の本番

アトリエへ戻り、丸椅子を持って好きな場所に移動します。部屋が暗くなり、パフォーマンスが始まりました。サクソフォンだけでなく、紙管やペットボトルまで楽器にしてしまうミュージシャン2人。その音に耳を傾け、時にはゆっくり、時には速く動くダンスを眼で追います。光の点滅や光源の移動とともに、アトリエの壁に映る人や物の影が、大きく、小さく動きます。



いっしょにリズムを楽しみました!

子どもたちは目の前の段ボールを叩き、リズムを取り始めます。叩くと違う音が出る素材をあれこれ叩いてみたり、チューブから声を出してみたり、思い思いに楽しみました。



「美術館を劇場化する」は、紙管や段ボール、竹、布などで部屋全体にインスタレーションを行い、そこに光、音、そしてダンスを加えていくことで、新たな場所と時間に出会うインスタレーション&パフォーマンスです。日常とは全く異なる出会いでしたが、子どもたちは観客ではなく、いつの間にか自分から加わっていました。時間と場所に身体と感覚が刺激され、積極的な身体になったのです。



学校の階段を、 いつもと違う空間に。

新聞紙をたくさん詰めた袋を持ちながらラジオ体操の動きを行い、その後、ゆっくり階段を上がります。登ったら袋を上から落とします。袋は情報のいっぱい詰まった社会。その袋を抱えながらのラジオ体操という枠にはめられた動きと、それをコントロールする身体。社会における個人の意識と身体感覚を表現する試みでした。



びびVisionで見られます



社会との関わりをテーマに踊る穴井さん。「何をやっているか、わからないかも知れないけど、『本番です』と言うと、その瞬間、緊張するでしょ?その時、みんなの目も身体も変わったけど、それが大切」と話します。いろいろな身体表現がありますが、今回は気持ちよく踊るのでなく、その場の空気や感覚を手探りで感じながら表現することを目指しました。

生徒の感想



「何をやったのか、どういことだったのか、すぐには言葉にならない。だから一言で楽しかったなんて感想は言えないけど、確実に何か起きた感じがする」



体育館を、音で、光で 変化させる。

今回、びじゅつかんの旅じたくを行った3年生は、2年前、出前ワークショップ「ぼわんぼわんロング」で会っていたので、顔なじみです。

はじめに、緑ヶ丘中学校の体育館2階から講師4人のパフォーマンスを鑑賞しました。鈴木さん、江川さんは、サックスの掛け合いだけでなくトライアングルやアサルト、さらにはペットボトルも楽器にしての演奏です。市川さんの水銀灯に照らされ、軽やかに、時には速く、そしてゆっくり動く穴井さん。巨大な影が体育館の壁に伸び縮みしました。この照明は穴井さんの動きに合わせた即興です。





まず、ウォーミングアップから

この日の音楽は、
前の晩、穴井さんと
踊りのイメージを
話しながら作った
鈴木さんの新曲!

4人の講師のように、身体パフォーマンスを行います。ステップを踏みながらのウォーミングアップでは、リズムを取りながら身体を動かしました。そして袋に新聞紙を詰めて、投げ合ったり、背中で渡したりすると、徐々に身体がリラックスしていきます。

「袋を投げ合った後、背負いながら軽快な音に合わせてステップを踏む。曲調が変わったら、真ん中に袋を投げ捨て、部屋の四方にゆっくり歩いていく」。これが今回の動きの流れです。袋は人間の気持ちや内面を表すもの。形のないものを形あるモノとして扱います。生演奏と光の演出は全て即興。穴井さんを先頭に、パフォーマンスが始まりました。

いよいよパフォーマンス!

大切にしたいこと

二つのグループに分かれてパフォーマンスを行います。見る・見られることから、客観的な自分の身体を想像することが大切です。

ステキな
江川さん

カッコイイ!!
穴井さん

光を自在にあやつる
市川さん

見る・見られる

関係

びじゅつかんの旅

旅したくの後には



後日、みんなで美術館に来て、学校で行ったパフォーマンスの映像を見ました。改めて見ると、どうでしょう。照れた生徒もいましたが、自分がやったことを、どんなストーリーだったのかなと想像してみます。なんだかわからないけどカッコイイ、不思議な世界が繰り広げられている、と思えた映像でした。

その後は、コレクション展示室へ。ある時は友達と一緒に、またある時は一人で、展示室を歩きます。眺めるだけだとすぐに見終わっちゃうけど、近寄ってみるといろいろな筆の使い方を発見。離れて見ると全体の構図からイメージも広がりました。



学校と美術館を劇場化する。それは日常が非日常になること。空間をモノで、音で、光で変化させる。すると何より身体と感覚が活性化され、まさに心も身体も躍るのです。そんな場所と時間との出会いを繰り返し、心と身体をワクワクさせてほしいと思います。

遊んでみよう

美術館で一緒にやろう

特別ワークショップ

お弁当を持参して、普段はできない長時間の制作や、一人ではできない年齢を超えた共同作業、企画展の鑑賞を組み合わせたワークショップ、そして大分県立歴史博物館と連携して、美術館ではできないワークショップなどを行っています。

猫をめぐるワークショップ

朝倉文夫の猫の彫刻がたくさん展示された企画展「朝倉文夫生誕140周年記念 猫と巡る140年、そして現在」に関連して、3つのワークショップを開催しました。

猫になって、寝ころぶ

猫耳を作り、猫メイクもします。展示室に行き、彫刻と同じポーズをしたり、視線をあわせたり、猫の気持ちになって作品を鑑賞しました。



猫メイク、かわいい



にゃん、にゃん



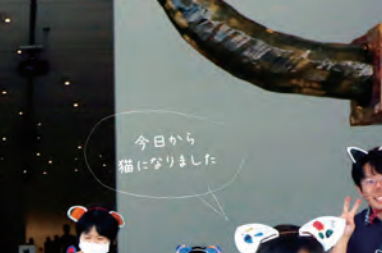
にゃんこ展示室

障子紙をもみ紙にして、猫のパペット人形をつくりました。その後、展示室の彫刻と並んで写真を撮ります。距離、ポーズを考えながら撮影すると、まるで彫刻とお話しているように写りました。



ゆらゆら、にゃんにゃん

自分の猫耳とともに、小さい猫を厚紙でつくります。布に近寄り、離れた、ジャンプしたり。反対側から見ると布がスクリーンになり、猫のシルエットが踊っているよう。



特別ワークショップ



海賊船と人魚たち

一人ではできない大掛かりな制作を、3日間かけて行いました。船の窓や帆の模様、そして宝箱の中身や大砲の玉まで、細かいところも丁寧に作っています。

海賊と人魚の衣装もつくり、メイクをして、なりきりました。

人魚の子

衣装もつくりました

人魚姫のカブチル♡

水を視る



着替えとお弁当を持っての1日ワークショップ。ずぶぬれになって全身で水を感じるワークショップを4年ぶりに行いました。コレクション展示室にも行き、描かれた水の表情をじっくり鑑賞しました。



絵の具にまみれて青くなる



4歳以上の未就学児とその保護者が一緒になって参加するワークショップでは、2日間とも絵の具まみれになって、全身で描きました。



バンブードームに挑む!



大分県立歴史博物館で特別展「竹ものがたり」に関連して行ったワークショップは、対象が小・中学生の子ども(昔、子どもだった人も可)ということで、子どもから大人まで11名が参加しました。美術館の教材から、真竹、孟宗竹、破竹、亀甲竹などいろいろな竹や、編組見本などを見た後、ノコギリを持って竹林へ。切り出した竹は、ナタとくさびを使って裂き、ドームを組み立てます。ワークショップは3時間。全集中でつくりました。



いろいろ知ろう!

表現
技術
素材

テンテン ヨルキン



足元に落ちていた木の実や石を、
手に取って視てみましょう。
ミクロとマクロの視点を行ったり来たりすると、
同じモノでも違う表情を発見できます。
まずは好奇心を持って、
いろいろなモノを視てみませんか?

視る楽しさを知ろう

好奇心がどんどん大きくなり、視るのが楽しくなると、さまざまなコトやモノをもっともっと知りたくなる。
その思いが増えて実行していくと、自分の視点が確立されます。自分なりのモノの視方があれば、美術館での作品鑑賞に結び付くだろうという思いから、
「朝のおとなの1010講座」(テンテン)と「夜のおとなの金曜講座」(ヨルキン)は始まりました。
「視るは楽しい教材ボックス」「大分県から絵の具をつくる」「美術からみた文化」「素材と技術」の4つのテーマで行っています。



視るは楽しい教材ボックス 「真珠。その輝き」



真珠がピカピカと輝くさまは、古代から貴重でした。
真珠層を持つ他の貝殻や絵画に登場する真珠も紹介しました。



視るは楽しい教材ボックス 「宝石を砕く」



今まで「大分県から絵の具をつくる」として、県内で採集した石を砕いて絵の具の元、顔料を制作してきました。今回はキラキラと光る宝石を砕き、顔料となる色の確認を行いました。



中学生から一般が対象ですが、テーマによっては小学生の字もちらりホウリとあります。



素材と技術 「ふさふさの織物」



ノッティングは、結び織りといい、緞通などのじゅうたんに使われる技法です。根気のある作業ですが、実際に触れてみると、自分でもやってみたくなる。講座内では終わらなかったため、簡易織機枠を貸し出し、家でコツコツつくりました。



大分県から絵の具をつくる 「ジャパンプルー 藍の魅力」



酸化・還元の仕事で染色する藍。生葉・枯れ葉・すくもから染める方法と、葉っぱから顔料を抽出する方法を紹介しました。



視るは楽しい教材ボックス 「黄飯のクチナシ色」



黄色を染める代表的な植物・クチナシは、大分県臼杵市の郷土料理「黄飯」の色。「黄飯」「クチナシの染色」について、紹介しました。



大分県から絵の具をつくる 「ザ・ピグメント〜丸を描く」



県内の石からつくった顔料は色とりどりです。アラビアゴムと膠による展色材の違いを確かめた後、みんなで丸を描きます。大小さまざまな、個性的な丸が集まりました。



いろいろ知ろう! **現** 材・技術・表現



教育普及活動展示

石は磨けば宝石、砕けば絵の具、彫って刻めば彫刻作品になります。普段はアトリエ前の廊下に展示している教材ボックスをアトリエ内に移動して、触る・触れる教材 [Hands on Works]の中から、石を素材とした作品群を展示しました。



石って、すげえ!



Hands on Worksからは



銅を叩いてつくる橋本真之さん。大分県の石灰岩を彫刻する佐野藍さん。谷本めいさんも大分県の各地の石からつくっています。ガラスの作品は青木美歌さん、高橋禎彦さん、陶磁の作品は井上雅之さん、中井川由季さん、小松誠さんがつくっています。そして金箔やテールベルト(緑土)を使っている木島隆康さんのテンペラ画も展示しました。



—こんな石も展示しました—
普段は講座でしか紹介していない自然金や石こう結晶、蛍光鉱物や化石、そして黒曜石の矢じりなど、貴重な石を展示しました。

特別ワークショップ 青の秘密から はじめよう!

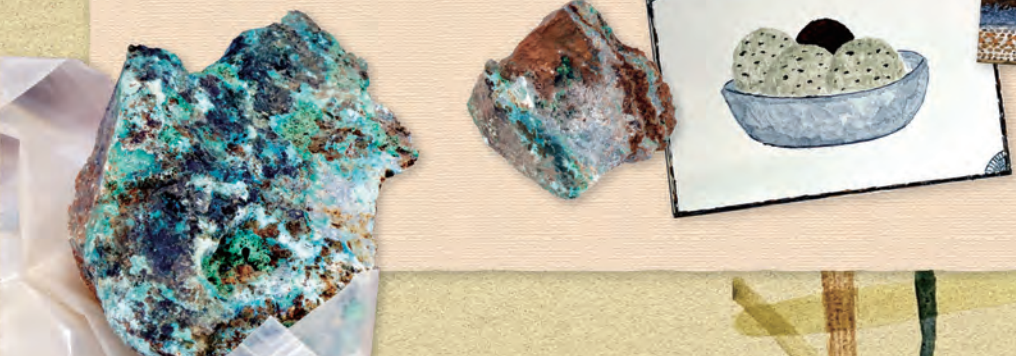
青い絵の具は、いったい何からつくられる?
鉱物・植物・動物から、青い絵の具を制作する本格的ワークショップです。中学生から一般までが対象で、1日5時間×2日間と長時間。つくった絵の具で絵も描きました。



テーマは「青」。日本では青といっても、「隣の芝生は青い」「青果市場」などの言葉や、信号機の青のように、現代では緑と呼ぶ色も含まれています。色には意味があり、文化・歴史を振り返ると象徴的にも使われてきたことがわかります。このワークショップは、色の意味についてのお話からスタートしました。
そして絵の具づくり。佐伯市宇目の珪孔雀石には、ほんの少し緑が含まれています。その緑を丁寧にピンセットで集めれば、かなり明るい緑が得られます。藍の枯れ葉を使って顔料も抽出。さらに豊後牛の血から、プルシャンブルーもつくってみる。実験室さながらのアトリエです。



顔料に展色材を混ぜると、絵の具の完成です。今回は、展色材に膠・アラビアゴム・リンシードオイルを使う3つのグループに分かれ、思い思いの絵を描きました。



いろいろ知ろう!
素材 技術 表現

知らない世界に

ワークショップ&レクチャー アーティストとの出会い

アーティストって、どんな人?
制作について、生の声を聞きながら、
アーティストの世界に触れました。

「フォトグラファー撮影の現場から」

SAI

岩田高等学校/大分市 〈出前ワークショップ〉

写真家のSAIさんは雑誌や広告などのアーティスト・ポートレートを撮り、俳優の写真集やテレビCM、ミュージックPVなどの映像カメラマン・監督を手掛けています。数多くの俳優やアイドルを撮影しているその仕事を紹介すると、知った顔がスクリーンに映るたび、歓声が上がりました。



みんなにも事前に写真を撮ってもらいました。テーマは「私にとって大切なモノ」。「講評はできないけど感想なら言えます」とSAIさん。マグカップやぬいぐるみ、散歩の風景に、「どれも高校生らしくて、かわいいですね」とコメントしました。

「なぜ、こんな表情の写真が撮れるのですか?」という質問に、「写真を撮るテクニックよりも、その人の魅力をいかに引き出すかが大切。その瞬間にシャッターを切ります」というSAIさんでした。やはり気になるのは大好きな俳優さんの素顔。休み時間も、「どんな人なんですか?」と質問するため長蛇の列ができました。



触れてみよう



SAI [写真家]

1963年、東京生まれ。武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン科 大学院修了後、グラフィックデザイン事務所を経て、独学で写真を始める。映画、雑誌、広告、CD、アーティスト・ポートレート、俳優の写真集などの分野で活動。テレビCM、ミュージックPVなどの映像カメラマン、映像監督も手掛ける他、写真展なども開催する。2017年、銀座ポーラ美術館アネックスで開催された青木美歌「あなたに続く森」展では、アーティストのドキュメンタリー映像を担当。また2020年より Sai photograph Ceramics として陶磁器の制作・展示の活動を始める。



SAIさんのホームページはこちら



SAIさんの陶器の作品も見てみよう!

高橋賢悟

「金属は熔ける」

府内高等学校/大分市
〈びじゅつかんの旅〉



高橋さんはどんな作品をつくっているのか。はじめにスライドで作品と制作現場を紹介しました。初めて見る、大学の工房での作業風景。大きな土間の工房、マグマのような金属を型に流し込む作業など、みんな興味津々で見ました。



高橋さんの用意した型枠を選び、ディテールをデザインしました。凸凹が逆になる。文字が反転する。ここがポイントです。



「金属は熔ける、ということを感じてほしい」と高橋さん。スズを溶かして型に流し込む、鑄込みを行いました。



おたまの上にスズのカケラをのせて、コンロの火で溶かします。溶けたスズを型に流し込み、水で冷やして取り出します。まわりを磨いて穴をあけ、ひもを通せば、ペンダントのできあがり。こんなに硬いモノが自分の思い通りにつくれるなんて、思ってもみない感動でした。



〈びじゅつかんの旅〉

スライドで見た高橋さんの作品をプリントアウトして、みんなの来館を待ちました。鹿の角や骸骨に細かい花がびっしり。スライドでは気づかなかった作品の緻密さに驚きました。

コレクション展示室では、3グループに分かれて鑑賞しました。ディテールを見るために、作品に近寄り、筆の使い方を視るために、一部分を手で隠して視たり。最後はじっくり一人で、あるいは友達と一緒に作品を視ました。



高橋さんのホームページはこちら

高橋賢悟 [美術家]
1982年、鹿児島県生まれ。東京藝術大学美術研究科修士課程 鑄金研究室を卒業後、同研究室の教育研究助手を経て非常勤講師。2022年、東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 工芸研究領域(鑄金)修了。東京藝術大学博士(審査員) (東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 工芸研究領域(鑄金)修了)。東京藝術大学大学院 美術研究科 博士(審査員) (東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 工芸研究領域(鑄金)修了)。東京藝術大学大学院 美術研究科 博士(審査員) (東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 工芸研究領域(鑄金)修了)。東京藝術大学大学院 美術研究科 博士(審査員) (東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 工芸研究領域(鑄金)修了)。東京藝術大学大学院 美術研究科 博士(審査員) (東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 工芸研究領域(鑄金)修了)。

いろいろ知ろう! 素材 技術 表現

Hands on Works

OPAM教育普及では、さまざまな講座やアウトリーチで視覚体験と触覚体験を深めるため、触る・触れる教材[Hands on Works]の制作を作家に依頼しています。そこでは立体作品だけでなく、眼で触る・触れるシリーズとして細密表現も取り上げています。昨年度末、そして今年度、新たに加わった[Hands on Works]を紹介します。



小林敬生さんは、こんな人

小林さんは、雁皮紙(和紙)に、木口木版を組み合わせた作品を刷っています。木口木版は書籍の挿絵や蔵書票など木口サイズが基本でしたが、「鏡貼り」という特殊な手法などを駆使して、大型の作品化を可能にしました。



細かな表現が驚きです!

小林敬生さんによる木口木版画一式

版画は凸版、凹版、平版、孔版の4種類があります。凸版の代表的なものは木版画で、浮世絵をはじめ、板目木版が広く知れ渡っています。一方、木口木版は線刻表現による細密描写が可能です。しかし、木口はとても硬いので、ユラン(彫刻刀)で思い通りに彫るのは難しい版画です。版画家の小林敬生さんに、「一詩画集一宙(そら)へ…」の版木を元に、教材一式を依頼しました。



一板目と木口一
板目木版は、木を縦方向に切って版木にします。
木口木版は、木を横方向に切って(輪切り)版木にします。

《一詩画集一宙(そら)へ…》とは
小林敬生さんと、美術評論家で詩人の建島哲さんとのコラボレーションによる、幻想的な詩画集です。



小林敬生 [版画家・多摩美術大学名誉教授]
1944年、島根県生まれ。インターナショナルデザイン研究所を修了し、グラフィックデザイン会社勤務を経て上京。1970年から作品発表をはじめ、日本版画協会展や国画会展に出品。1976年以降、木口木版による作品を主とし、日本現代版画大賞展、ソウル国際ミニチュア版画ビエンナーレ展などで受賞を重ねた。1985年以降は大型化した「蘇生の刻」シリーズに取り組んでいる。2006年紫綬褒章受章。

木島隆康さんによるテンペラ画

修復家の木島さんに、大分県の貝殻や植物をモチーフにテンペラ画を描いてもらいました。



《見えた、何が、潮騒が》
アカニシ、イボニシ、アワビなど、大分市、中津市、佐伯市で拾った貝殻を描いてもらいました。じっと見ていると、潮騒が聞こえてきたり、海の匂いがするのを感じませんか。

川島逸郎さんによる生物標本画

《クマゼミ 幼虫の抜け殻》 美術館近くでクマゼミの脱皮を目撃!

生物画家の川島逸郎さんに、美術館隣の公園で採集したクマゼミの幼虫の抜け殻を描いてもらいました。輪郭線以外はほとんど点の粗密で描かれています。



細密に描くためペン先は常に新品を使用

川島逸郎 [生物画家]
標本画や資料画を中心とした描画は独学。資料性の高い画を制作するために、自らも研究活動を行う。



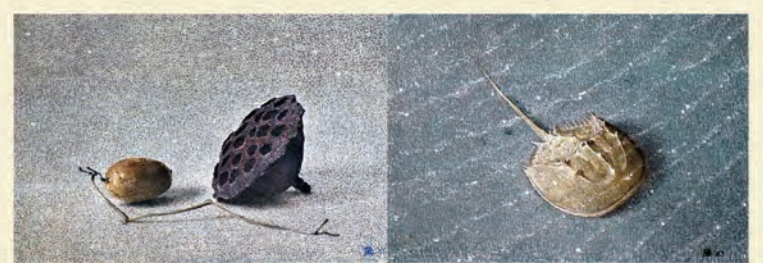
妻木良三さん、ただいま制作中

美術家の妻木良三さんは、心象風景を鉛筆で描いています。昨春、日田市大原八幡宮の「米占い」の神事を一緒に訪ね、そこから受けたイメージをもとに作品を描いてもらっています。



「米占い」とは…
日田の農作物の作柄と天変地異を占う神事です。毎年2月15日に小豆飯を盛り付けた「地形盆」と「五穀盆」を神殿に奉納し、その1ヶ月後に生えたカビの色や生え具合から占います。

妻木良三 [美術家・浄土真宗僧侶]
1998年より鉛筆による絵画を描き始める。東京での活動後、2008年に和歌山県湯浅町に帰郷し、自坊の本勝寺で僧職を務めながら研鑽を重ねる。



《生まれた、どこで、大分で》
宇佐神宮のハスと、豊後大野市の道路沿いで見つけたカラスヅリ。とてもリアルで触れそうです。

《潮騒の音が聞こえる》
大分県中津市でE君(当時小学2年生)が採集したカブトガニの抜け殻。細かい点や線の重なりで、色や影を表現しています。もとは抜け殻ですが、絵では生きているかのように表現されています。



触りたくなる〜!

木島隆康 [修復家・画家]
東京藝術大学大学院美術研究科保存修復油画研究室で油絵画修復と金地テンペラの技術指導を中心に、文化財保存分野の人材育成に携わってきた。

矢島由佳さんによる見える微生物の世界

《変形菌ボックス》

「目に見えないほど小さい」ことから「微生物」と呼ばれるはずが、目に見える微生物も地球上には存在します。この見える微生物・変形菌は、あるときはアメーバ状に、またあるときはキノコのように胞子をつくる不思議な生きもので、別名を粘菌やホコリカビといいます。森の宝石ともいわれるほど美しい変形菌。微生物を研究している矢島由佳さんに、変形菌の標本を中心に、変形菌ボックスの制作一式をお願いしました。



矢島由香 [室蘭工業大学大学院 准教授]
専門は変形菌(真正粘菌)、形態形成、超微細構造解析。近年活用が期待されている難培養性微生物など未利用微生物の実態と能力の解明を行っている。



「なんとなく好き」を増やす

「おおっ! すげえ!」。年末年始の特別ワークショップ「ふわもこ鏡餅」に参加したお父さんが、布が大きく膨らんだ瞬間に発したひと言です。このお父さんは、その日、初めてワークショップに参加し、つい口に出てしまったという感じてした。こうした感動との出会いは、何よりも素敵で、しかもその楽しさはライブでないと伝わりません。初めて参加した家族から、「来てみたら、思った以上に楽しかった」という声が多数聞かれました。6日間連続で、定員も設けず行ったため、友達や親戚といっしょに来たり、口コミで広がったりと、多くの人たちが参加しました。

今はインターネットが普及し、どこにいても欲しい情報が手に入りやすい社会です。コロナ禍で大勢の人が集まることを避け、外出も控えていたとき、多くの美術館は休館し、館によってはオンラインを活用した普及プログラムを行っていました。しかし、コロナ禍も落ち着いた今、実物がある美術館にぜひ来てほしいと思います。インターネットを介した画像では感動が伝わりづらく、広がりづらい。情報だけで満足だ、という人たちにこそ、このワークショップのライブ感を、そしてモノを見る楽しさを伝えたい、広げたいと思います。



「これ、いいな」と思うものと出会うと、身体も心もワクワク・ドキドキします。いったいなせいでしょ。そこには何か理由があるかもしれませんが、それを考える必要はなく、「なんとなく」いいなと思うだけでかまいません。「なんとなく」という言葉は、いい加減、曖昧といった感覚が伴い、あまり肯定的と思わない人がいるかもしれませんが、「なんとなく」は、その人がそれまでに会ったモノやコトが心の中に蓄積され、にじみ出てきたものだと思います。

教育普及では開館当初から、アートを教えるのではなく、アートの前に、モノを見る楽しさを伝えることが大切と考えました。これは作品のタイトルや作家名、経歴などの情報に左右されず、目の前にある作品を丁寧に視ること、細部、描き方、素材、構図、そして全体の雰囲気を感じる大切だからです。コレクション展示室で丁寧に作品を視ていると、他の作品も気になります。なんとなく、ワクワクし始める人もいます。作品を見たいという気持ちが生まれた瞬間かもしれません。

美術館とはどんな場所で、なぜ行くのでしょうか。美術作品を見ると、心が癒される人や元気・勇気が出る人がいます。何かを考える



きっかけとする人もいるかもしれません。この作品(展覧会)を見たという人の中にも、絵を見るのが好きだから、美術や技術をもっと知りたいからなど、いろいろな人がいるでしょう。中にはなんとなく、何か出会いがあるかもしれないと期待してやってくる人もいます。OPAMは出会いの美術館をコンセプトの一つにしています。「ふわもこ鏡餅」をきっかけに、初めて美術館に来た人たちは、帰る前にコレクション展示室に立ち寄りてくれたでしょうか?美術館に来たら、ぜひコレクション展示室に立ち寄り、なんとなく作品を眺めてほしいと思います。もしも、なんとなく好きな絵があったなら、その前で佇んでみてください。そうした「なんとなく好き」がたくさん積み重なると、自分の視点ができて、さらに新たな出会いが生まれることでしょう。

大分県立美術館
学芸企画課 教育普及室 室長 榎本寿紀



INDEX 実施一覧

参加者:4歳以上の未就学児とその保護者 23名
日時:2023年7月2日(日)10:30～13:30
参加者:小中学生とその保護者 17名
[ゆらゆら、にゃんにゃん]
日時2023年7月15日(土)10:30～13:30
参加者:4歳以上の未就学児とその保護者 12名
日時:2023年7月16日(日)10:30～13:30
参加者:小中学生とその保護者 10名
[にゃんこと展示室]
日時:2023年7月22日(土)10:30～13:30
参加者:4歳以上の未就学児とその保護者 13名
日時:2023年7月23日(日)10:30～13:30
参加者:小中学生とその保護者 7名

夏の特別ワークショップ

[びしょぬれワークショップ 水を見る]
場所:OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室、創作広場
日時:2023年7月29日(日)10:30～13:30
参加者:小中学生 28名
[アンダー・ザ・シー 絵の具にまみれて青くなる]
場所:OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室
日時:2023年8月5日(土)・6日(日)10:30～13:30
参加者:4歳以上の未就学児とその保護者 27名
[大分県から絵の具をつくる 青の秘密からはじめよう!]
場所:2Fアトリエ
日時:2023年8月12日(土)・13日(日)10:30～15:30
参加者:中学生から一般 13名
[全力で作る・造る・創る、3日間 海賊船と人魚たち]
場所:2Fアトリエ
日時:2023年8月17日(木)～19日(土)10:30～15:30
参加者:小中学生 22名

一企画展「住友コレクション名品選 フランスと日本近代洋画」関連ワークショップー

場所:OPAM 3F展示室
[のえとえの 近代洋画の楽しみ方]
日時:2023年8月25日(金) 13:30～14:30
参加者:小学生から一般 7名
日時:2023年8月25日(金)18:00～19:10
参加者:中学生から一般 33名

年末年始特別ワークショップ

場所:OPAM 1Fアトリウム
対象:どなたでも
[ふわもこ鏡餅]
日時:2023年12月29日(金)10:30～11:30
参加者:43名
日時:2023年12月30日(土)10:30～11:30
参加者:47名
日時:2023年12月31日(日)10:30～11:30
参加者:44名
日時:2024年1月1日(月・祝)10:30～11:30
参加者:13名
日時:2024年1月2日(火)10:30～11:30
参加者:31名
日時:2024年1月3日(水)10:30～11:30
参加者:56名

一企画展「テルマエ展 お風呂でつながる 古代ローマと日本」関連ワークショップー

場所: OPAM 1F展示室、2Fアトリエ
[ドールハウスをつくるうい～OPAM温泉めぐり]
日時:2024年1月13日(土)10:30～13:30
参加者:4歳以上の未就学児とその保護者 15名
日時:2024年1月14日(日)10:30～13:30
参加者:小学生とその保護者 27名

特別ワークショップ・レクチャー

[木口木版画 線刻の宇宙]
講師:小林敬生(版画家)
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2024年3月10日(日)13:30～16:30
参加者:中学生から一般

教育普及活動展示

場所:OPAM 2Fアトリエ
[びじゅつって、すげえ! 2022-2023]
日時:2023年4月22日(土)～5月7日(日)開館時間
[ぜったい楽しい夏休み!2023]
日時:2023年8月21日(月)～8月31日(木)開館時間
[石って、すげえ! 色材と素材から作品まで]

日時:2023年12月16日(土)～2024年1月8日(月・祝)開館時間
[教育普及活動展示～OPAM美術部 この1年間の活動から]
日時:2024年3月15日(金)～2024年3月24日(日) 開館時間

次世代育成講座

OPAM美術部

場所:OPAM 2Fアトリエ・体験学習室
対象:中学生、高校生
[オリエンテーション]
日時:2023年6月25日(日)13:30～15:30
参加者:27名(部員15名、保護者12名)
[描くために視る①木炭デッサン]
日時:2023年7月9日(日)13:30～15:30
参加者:14名
[描くために描く①ドローイング]
日時:2023年7月30日(日)13:30～15:30
参加者:13名
[描くために視る②鉛筆デッサン]
日時:2023年8月20日(日)13:30～15:30
参加者:14名
[描くために描く②明暗法・クロッキー]
日時:2023年9月10日(日)13:30～15:30
参加者:12名
[描くために視る③想像で描く]
日時:2023年9月24日(日)13:30～15:30
参加者:10名
[テンペラ画下地づくり]
日時:2023年11月26日(日)13:30～15:30
参加者:9名
[テンペラ画下地づくり]
日時:2024年1月28日(日)13:30～15:30
参加者:12名
[テンペラ画下地づくり]
日時:2024年2月4日(日)13:30～15:30
[テンペラ画下地づくり]
日時:2024年3月3日(日)13:30～15:30

一番外編(自主練習)ー

[壁画を描く! (室内ドローイング)]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年4月29日(土・祝)13:30～15:30
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年4月30日(日)13:30～15:30
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
2023年5月3日(水・祝)13:30～15:30
参加者:2名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年5月4日(木・祝)13:30～15:30
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年5月5日(金・祝)13:30～15:30
参加者:3名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年5月14日(日)13:30～15:30
参加者:6名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年5月28日(日)13:30～15:30
参加者:7名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年6月4日(日)13:30～15:30
参加者:4名
[壁画を描く! (室内ドローイング)]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年6月18日(日)13:30～15:30
参加者:3名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年7月8日(土)10:00～12:00
参加者:6名

[木炭デッサン、音の広がる街ドローイング]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年7月17日(月・祝)10:00～12:00
参加者:6名
[ハートがいっぱいをつくる]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年8月11日(金・祝)14:00～16:00
参加者:1名
[鉛筆デッサン]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年8月27日(日)14:00～16:00
参加者:2名
[パステル画のために]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年9月3日(日)14:00～16:00
参加者:1名
[パステル画のために]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年9月18日(月・祝)14:00～16:00
参加者:1名
[パステル画のために]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年9月23日(土・祝)14:00～16:00
参加者:1名
[パステル画・想定デッサンのために]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年10月1日(日)14:00～16:00
参加者:2名
[自主制作]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年10月29日(日)14:00～16:00
参加者:3名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年11月12日(日)14:00～16:00
参加者:3名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2F体験学習室
日時:2023年11月12日(日)14:00～16:00
参加者:3名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

OPAM美術部＋α

場所:OPAM 2Fアトリエ・体験学習室
対象:OPAM美術部員と中学生以上一般
[技法史からみた美術史]
日時:2023年10月15日(日)13:30～16:30
参加者:27名(部員10名、一般17名)
[テンペラ画]
日時:2023年11月5日(日)13:30～16:30
参加者:26名(部員8名、一般18名)
[絵画の修復]
日時:2023年12月10日(日)13:30～16:30
参加者:25名(部員9名、一般16名)

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年11月23日(木・祝)10:00～16:00
参加者:1名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月3日(日)10:00～12:00、14:00～16:00
参加者:5名
[テンペラ画下地づくり]
場所:OPAM 2Fアトリエ
日時:2023年12月9日(土)13:00～16:00
参加者:4名
[壁画を描く!]
場所:OPAM 2F体験学習室、iichiko総合文化センター
日時:2023年12月29日(金)14:00～16:00
参加者:3名

日時:2023年7月14日(金)10:00～12:00
■社会福祉法人海辺福祉会 海辺こども園5歳児 18名
[びじゅつかんの旅じたく 積み紙の街]
日時:2023年8月22日(火)10:00～11:30
■社会福祉法人慈光会 にしきこども園4・5歳児 26名
[びじゅつかんの旅じたく 今日は積みぜ!]
日時:2023年8月23日(水)10:00～11:30
■大分県立美術館ガイドスタッフ 23名
[ガイドスタッフ研修]
日時:2023年8月24日(木)14:00～15:30
■社会福祉法人海辺福祉会 海辺こども園5歳児 18名
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2023年8月30日(水)10:00～14:00
■学校法人いずみヶ丘学園 どんぐり幼稚園5歳児 12名
[びじゅつかんの旅じたく ひかりの街]
日時:2023年11月15日(水)10:00～11:30
■学校法人いずみヶ丘学園 しいのみこども園5歳児 10名
[びじゅつかんの旅じたく ひかりの街]
日時:2023年11月15日(水)10:00～11:30
■中津市立上津小学校2～4年生 17名
[びじゅつかんの旅じたく ふわもこギャラクシー+ピンボン]

日時:2023年11月21日(火)13:40～15:10
■学校法人いずみヶ丘学園 どんぐり幼稚園5歳児 15名
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2023年11月24日(金)10:00～12:00
■学校法人いずみヶ丘学園 しいのみこども園5歳児 9名
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2023年11月24日(金)10:00～12:00
■中津市立上津小学校2～4年生 18名
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2023年12月1日(金)10:00～12:00
■社会福祉法人慈光会 にしきこども園5歳児 26名
[びじゅつかんの旅 美術館を劇場化する]
講師:穴井豪(コンテンポラリーダンサー)、鈴木広志(ミュージシャン)、江川良子(ミュージシャン)、市川平(特殊照明作家)
日時:2023年12月6日(水)10:30～15:00
■竹田市立緑ヶ丘中学校3年生 19名
[びじゅつかんの旅じたく 学校を劇場化する]
講師:穴井豪(コンテンポラリーダンサー)、鈴木広志(ミュージシャン)、江川良子(ミュージシャン)、市川平(特殊照明作家)
日時:2023年12月7日(木)10:20～12:10
■学校法人府内学園 府内高等学校1～3年生 14名
[びじゅつかんの旅じたく 金属は熔ける]
講師:高橋賢悟(美術家)
日時:2023年12月13日(水)9:30～12:00
■竹田市立緑ヶ丘中学校3年生 18名
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2023年12月14日(木)10:20～12:10
■学校法人府内学園 府内高等学校1～3年生 13名
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2023年12月15日(金)10:00～12:00
■社会福祉法人なのみ福祉会 なのみこども園5歳児 12名
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2024年1月17日(水)10:30～12:30
■社会福祉法人産土会 みずほ保育園4・5歳児 23名
[びじゅつかんの旅じたく 積み紙の街]
日時:2024年1月26日(金)9:30～11:00
■学校法人ひまわり学園 認定こども園 ひまわり幼稚園4歳児 74名
[びじゅつかんの旅じたく ばたふわドラゴン]
日時:2024年1月30日(火)10:00～12:00
■学校法人ひまわり学園 認定こども園 ひまわり幼稚園4歳児

[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2024年2月13日(火)10:00～12:00
■社会福祉法人産土会 みずほ保育園4・5歳児
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2024年2月14日(水)10:00～12:00
■大分市立滝尾中学校特別支援学級
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2024年2月15日(木)10:00～12:00、13:00～14:00
■大分県立南石垣支援学高校高等部1年生
[びじゅつかんの旅 一緒に視る]
日時:2024年2月19日(月)10:00～11:45

出前ワークショップ
■社会福祉法人萌葵の郷こどもの夢 こざいこども園5歳児 17名

[ばたふわドラゴン]
日時:2023年7月6日(木)10:00～11:30
■社会福祉法人松栄福祉会 松栄保育園4・5歳児 30名
[ころころボール]
日時:2023年7月11日(火)10:00～11:00
■佐伯市立つるおか保育所5歳児 18名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年7月27日(木)9:30～10:30
■社会福祉法人真玉福祉会 城台保育園5歳児 24名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年8月2日(水)9:40～11:00
■社会福祉法人すみれ会 ありのみ保育園4・5歳児 8名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年8月3日(木)9:30～11:00
■国立大学法人大分大学 なかよし保育園0・1・2・5歳児48名
[ころころボール]
日時:2023年8月25日(金)10:00～11:00
■社会福祉法人光輪福祉会 たかすこども園5歳児 16名
[ふわもこ]
日時:2023年9月6日(水)10:00～11:30
■臼杵市立南小学校5・6年生 14名
[超ぼわんぼわん]
日時:2023年9月7日(木)10:30～12:05
■大分県立大分西高等学校2年生 5名
[ザ・ビッグメント～西高色をつくる]
日時:2023年9月11日(月)10:00～11:50
■中津市立津民小学校1・4・5年生 3名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年9月13日(水)10:40～11:25
■杵築市立守江幼稚園4・5歳児 5名
[ころころボール]
日時:2023年9月15日(金)10:00～11:30
■竹田市立白丹小学校3・4・6年生 7名
[ばたばたちょうちょう・スーパーエッグ]
日時:2023年9月22日(金)13:35～15:10
■臼杵市立南野津小学校1～6年生 29名
[ドット・ペインティング]
日時:2023年9月25日(月)10:25～11:50
■佐伯市立宇目緑豊小学校1・2年生 13名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年9月26日(火)10:30～12:05
■臼杵市立下南小学校6年生 25名
[ふわもこ]
日時:2023年9月28日(木)13:40～14:25
■豊後高田市立呉崎小学校1～3年生 19名
[Hands on works(青木美歌)]
日時:2023年10月3日(火)14:00～14:45
■大分大学教育学部附属中学校1～3年生 17名
[ふわもこ]
日時:2023年10月11日(水)15:15～16:15
■佐伯市立東雲小学校1～6年生 20名
[ざっくざくのコイン]
日時:2023年10月17日(火)13:35～14:20
■学校法人岩田学園 岩田高等学校1年生 72名
[フォトグラフアー 撮影の現場から]
講師:SAI(写真家)
日時:2023年10月20日(金)14:10～16:00
■竹田市立祖峰小学校4～6年生 17名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年10月26日(木)10:25～11:55
■杵築市立東小学校1・2年生 37名
[ころころピンボン]
日時:2023年11月1日(水)9:30～11:20
■佐伯市立直川小学校4～6年生 22名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年11月2日(木)13:50～15:25
■学校法人扇城学園 東九州龍谷高等学校2年生 23名
[学校を劇場化する]
講師:穴井豪(コンテンポラリーダンサー)
日時:2023年11月6日(月)10:30～12:30
■姫島村立姫島幼稚園・姫島村保育所4・5歳児 10名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年11月7日(火)10:30～11:30
■大分市立裏川保育所4・5歳児 29名
[ざっくざくのコイン]
日時:2023年11月8日(水)9:30～10:30
■社会福祉法人別府光の園 光の園子どもの広場3・4歳児

30名
[魔法の帽子]
日時:2023年11月9日(木)10:00～11:00
■杵築市立大内幼稚園4・5歳児、杵築市立大内小学校1年生 13名
[ころころボール]
日時:2023年11月10日(金)10:20～11:45
■大分市立長浜小学校3年生 43名
[超ぼわんぼわん]
日時:2023年11月11日(土)9:25～11:15
■佐伯市立本匠小学校4～6年生 13名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年11月13日(月)13:20～14:50
■日田市立小野小学校1～6年生 22名
[コミュニケーション・スティック]
日時:2023年11月14日(火)13:30～14:30
■学校法人大分カトリック学園 カトリック坂ノ市幼稚園5歳児 41名
[ふわもこ]
日時:2023年11月16日(木)10:20～11:20
■佐伯市立上堅田小学校2年生 36名
[ぼわんぼわんロング]
日時:2023年11月17日(金)10:35～12:10
■宇佐市立宇佐小学校1・2年生 28名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年12月4日(月)11:00～12:15
■大分市立かないげ認定こども園4歳児 34名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年12月5日(火)9:30～11:00
■九重町立南山田小学校1・2年生 22名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年12月11日(月)9:30～11:30
■九重町立南山田小学校3・4年生 25名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年12月11日(月)13:50～15:25
■豊後大野市立百枝小学校3・4年生 15名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2023年12月12日(火)10:20～11:45
■国東市立富来小学校5・6年生 19名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年12月19日(火)13:35～14:20
■社会福祉法人真玉福祉会 真玉保育園4・5歳児 25名
[ばたふわドラゴン]
日時:2023年12月20日(水)9:30～11:00
■社会福祉法人新樹会 緑が丘こども園 47名
[ばたふわドラゴン]
日時:2024年1月9日(火)13:00～14:30
■佐伯市立切畑小学校6年生 16名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2024年1月22日(月)10:25～12:00
■社会福祉法人三重福祉会 すがおこども園5歳児 14名
[ばたばたちょうちょう]
日時:2024年1月23日(火)10:00～11:30
■珠珠町立八幡小学校1～6年生 24名
[ふわもこギャラクシー+ピンボン]
日時:2024年1月26日(金)13:30～15:00
■大分大学教育学部附属特別支援学校高等部1～3年生 13名
[ころころボール+ピンボン]
日時:2024年1月31日(水)13:10～14:55
■杵築市立北杵築小学校3～5年生
[顔料制作]
日時:2024年3月5日(火)13:40～15:30

地域美術館体験講座
場所:きつき城下町資料館
[杵築の美術と風土 一大大分県立美術館コレクションー]
日時:2023年10月5日(木)14:00～15:30
参加者:大分県立美術館サポーター(研修) 4名
日時:2023年10月6日(金)10:00～10:45
参加者:杵築市立山香小学校3年生 31名
日時:2023年10月6日(金)11:00～11:45
参加者:杵築市立藤江小学校3・4年生 21名
日時:2023年10月6日(金)13:30～14:15
参加者:杵築市立東小学校3年生 24名
日時:2023年10月6日(金)14:30～15:15
参加者:杵築市立豊洋小学校3年生 8名
日時:2023年10月12日(木)10:00～10:45
参加者:杵築市立北杵築小学校3～6年生 29名
日時:2023年10月12日(木)11:00～11:45
参加者:杵築市立大内小学校3～5年生 30名

INDEX 実施一覧

日時:2023年10月12日(木)13:30~14:15
 参加者:杵築市立大田小学校3~6年生 13名
 日時:2023年10月12日(木)14:30~15:15
 参加者:杵築市立立石小学校3~6年生 6名
 日時:2023年10月16日(月)11:00~11:45
 参加者:杵築市立八坂小学校3年生 24名
 日時:2023年10月16日(月)13:30~14:15
 参加者:杵築市立杵築小学校3年1組 34名
 日時:2023年10月16日(月)14:30~15:15
 参加者:杵築市立杵築小学校3年2組 35名

連携プログラム

大分県教育委員会義務教育科との
 ミュージアムを活用した子どもの感性育成事業
 (小4ミュージアムツアー)

場所:OPAM 2F研修室、3Fホワイエ・コレクション展示室
 日時:2023年6月9日(金)10:30~12:00
 参加者:小4ミュージアムツアーガイドスタッフ(研修) 16名
 日時:2023年6月9日(金)14:30~16:30
 参加者:引率教員(研修) 22名
 日時:2023年9月11日(月)10:00~12:00
 参加者:日出町立川崎小学校4年生 67名
 日時:2023年9月11日(月)13:00~15:00
 参加者:杵築市立山香小学校4年生 27名
 日時:2023年9月12日(火)10:00~12:00
 参加者:大分市立小佐井小学校4年生 86名
 日時:2023年10月3日(火)10:00~12:00
 参加者:中津市立今津小学校4年生 30名
 日時:2023年10月6日(金)13:30~15:00
 参加者:臼杵市立佐志生小学校1~6年生 15名
 日時:2023年10月10日(火)10:00~12:00
 参加者:佐伯市立明治小学校4年生 33名
 日時:2023年10月16日(月)10:00~12:00
 参加者:宇佐市立八幡小学校4年生 21名
 日時:2023年10月16日(月)10:00~12:00
 参加者:由布市立由布川小学校特別支援学級5・6年生 22名
 日時:2023年10月19日(木)10:00~12:00
 参加者:別府市立鶴見小学校4年生 72名
 日時:2023年10月19日(木)13:00~15:00
 参加者:別府市立春木川小学校4年生 49名
 日時:2023年10月30日(月)13:00~15:00
 参加者:竹田市立竹田小学校4年生 27名
 日時:2023年10月30日(月)13:00~15:00
 参加者:竹田市立城原小学校4年生 4名
 日時:2023年10月31日(火)10:00~12:00
 参加者:宇佐市立四日市南小学校4年生 43名
 日時:2023年10月31日(火)10:00~12:00
 参加者:臼杵市立下南小学校4年生 20名
 日時:2023年11月2日(木)10:00~12:00
 参加者:津久見市立青江小学校4年生 23名
 日時:2023年11月20日(月)10:00~12:00
 参加者:宇佐市立四日市北小学校4年生 43名
 日時:2023年11月21日(月)10:00~12:00
 参加者:臼杵市立臼杵小学校4年生 42名
 日時:2023年11月24日(金)10:00~12:00
 参加者:日田市立日隈小学校4年生 24名
 日時:2023年12月18日(月)10:00~12:00
 参加者:大分市立こうざき小学校4年生 9名
 日時:2023年12月18日(月)10:00~12:00
 参加者:大分市立佐賀関小学校3・4年生 9名
 日時:2024年1月18日(木)10:00~12:00
 参加者:津久見市立津久見小学校5年生 27名
 日時:2024年1月19日(金)10:00~12:00
 参加者:豊後高田市立草地小学校4・5年生 8名
 日時:2024年1月26日(金)10:00~12:00
 参加者:臼杵市立北小学校4年生 33名
 日時:2024年2月1日(木)10:00~12:00
 参加者:由布市立由布川小学校4年生 63名

先生のためのワークショップ

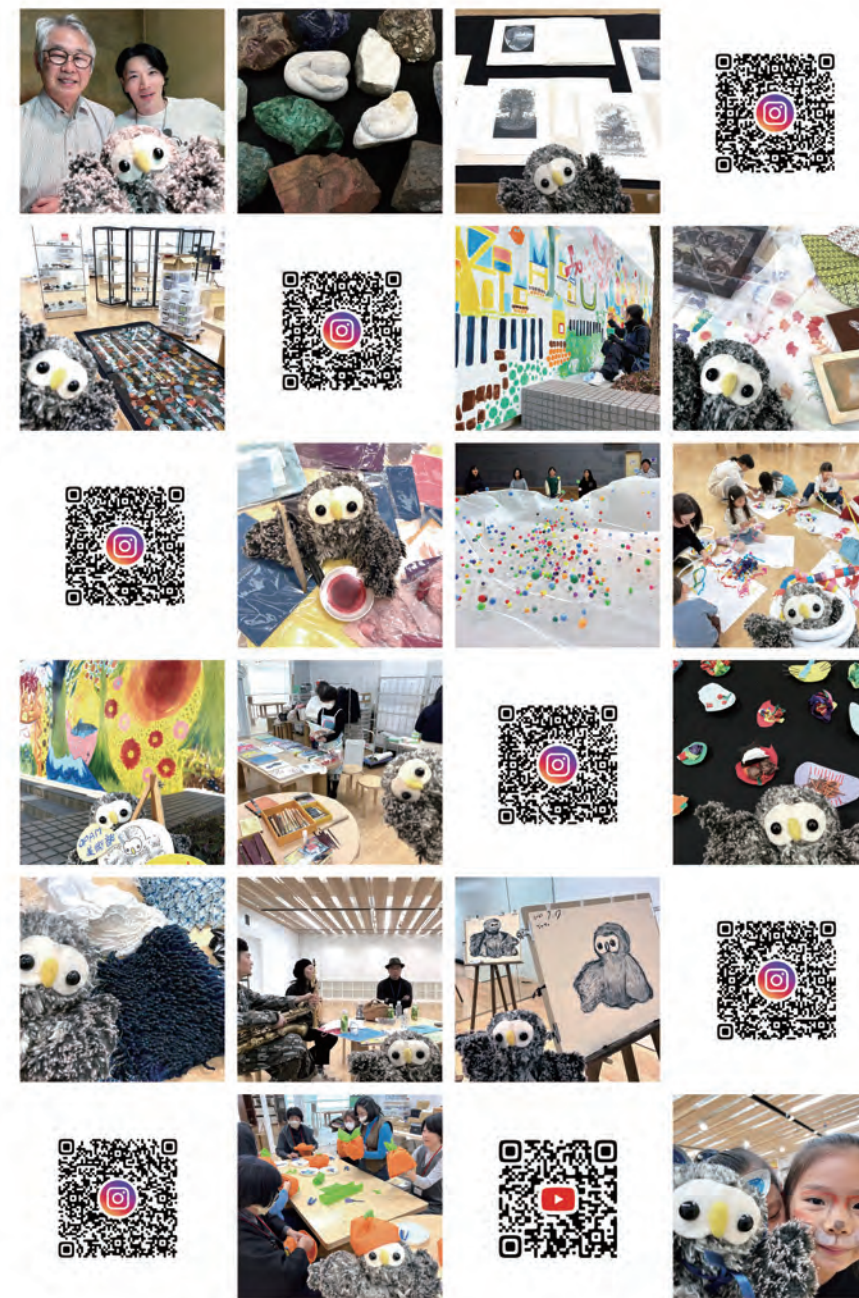
[ふわもこ]
 場所:由布市立挾間中学校
 日時:2023年6月13日(火)15:00~16:30
 参加者:由布市内小学校・中学校の先生 20名
 [幼稚園新規採用教員研修に係る園外研修]
 場所:OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室
 日時:2023年6月29日(木)13:00~16:00

参加者:公・私立幼稚園新規採用教諭 35名
 [幼稚園中堅教諭等資質向上研修に係る園外研修]
 場所:OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室
 日時:2023年7月21日(金)13:00~16:00
 参加者:公・私立幼稚園中堅教諭 15名
 [幼保連携型認定こども園中堅保育教諭等資質向上研修に係る園外研修]
 場所:OPAM 2Fアトリエ・研修室、3Fコレクション展示室
 日時:2023年9月14日(木)10:00~16:00
 参加者:幼保連携型認定こども園中堅保育教諭 20名
 [幼保連携型認定こども園新規採用保育教諭研修に係る園外研修]
 場所:OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室
 日時:2023年9月27日(水)10:00~16:35
 参加者:幼保連携型認定こども園新規採用保育教諭 36名
 [テーマ別研修「美術館を活用した教科指導」]
 場所:OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室
 日時:2023年10月10日(火)10:00~12:30
 参加者:中堅教諭等資質向上研修選択者 27名
 [ステップアップ研修Ⅰ「美術館を活用した図画工作科指導」]
 場所:OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室
 日時:2023年10月23日(月)10:00~12:30
 参加者:在職2年目公立小学校教諭 27名
 日時:2023年10月23日(月)14:00~16:20
 参加者:在職2年目公立小学校教諭 27名
 日時:2023年10月24日(火)10:00~12:30
 参加者:在職2年目公立小学校教諭 25名
 日時:2023年10月24日(火)14:00~16:20
 参加者:在職2年目公立小学校教諭 25名
 [「先生のためのギャラリートツアー」@テルマエ展]
 場所:OPAM 1F展示室
 日時:2023年12月2日(土)16:00~17:00
 参加者:大分県内の保育所・こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員 10名
 [今週は先生のため@テルマエ展]
 場所:OPAM 1F展示室
 対象:大分県内の保育所・こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員
 日時:2023年12月11日(月)開館時間
 参加者:3名
 日時:2023年12月13日(水)開館時間
 参加者:1名
 日時:2023年12月14日(木)開館時間
 参加者:1名
 日時:2023年12月15日(金)開館時間
 参加者:2名
 日時:2023年12月16日(土)開館時間
 参加者:3名
 日時:2023年12月17日(日)開館時間
 参加者:13名
 [先生とテルマエ展へ]
 場所:OPAM 1F展示室
 日時:2023年12月21日(木)13:40~14:40
 参加者:大分市立判田中学校特別支援学級2年生 14名
 [絵画の技法史からみた美術史、及び古典技法/テンペラ画の制作]
 場所:OPAM 2Fアトリエ・体験学習室
 参加者:大分県内の高等学校教員 10名
 日時:2023年12月27日(水)13:00~16:00
 日時:2024年1月21日(日)10:30~12:30
 日時:2024年2月4日(日)17:00~19:00
 [ばたばたちょうちょう]
 場所:大分市認可保育園王子町保育園
 日時:2024年1月5日(金)13:30~14:30
 参加者:王子町保育園職員 6名
 [ばたふわドラゴン]
 場所:社会福祉法人新樹会 緑が丘こども園
 日時:2024年1月9日(火)14:30~15:00
 参加者:緑が丘こども園職員 15名
 [美術館における美術教育]
 場所:OPAM 2Fアトリエ
 日時:2024年1月23日(火)10:00~11:30
 参加者:別府大学短期大学部専攻科初等教育専攻1年生と教員 11名
 [ばたふわドラゴン]
 場所:学校法人大分カトリック学園 カトリック坂ノ市幼稚園

日時:2024年2月7日(水)14:00~15:30
 参加者:カトリック坂ノ市幼稚園職員
 [ばたばたちょうちょう]
 場所:社会福祉法人大在福祉会 大在愛育こども園
 日時:2024年2月8日(木)14:00~15:00
 参加者:大在愛育こども園職員
 [ばたばたちょうちょう]
 場所:社会福祉法人海辺福祉会 海辺こども園
 日時:2024年2月9日(木)14:00~15:00
 参加者:海辺こども園職員
 [ばたばたちょうちょう]
 場所:社会福祉法人山香民生福祉会 東こども園
 日時:2024年2月19日(月)13:30~15:00
 参加者:東こども園職員
 [石のワークショップいろいろ]
 場所:杵築市立北杵築小学校
 日時:2024年3月5日(火)15:40~16:40
 参加者:北杵築小学校職員
 [身体と感覚の活性化のために]
 場所:社会福祉法人光明寺福祉会 幼保連携型認定こども園 両川こども園
 日時:2024年3月16日(土)13:30~15:00
 参加者:両川こども園職員

大分県立歴史博物館との連携事業

[ハンブー・ドームに挑む!]
 場所:大分県立歴史博物館
 日時:2023年11月3日(金・祝)13:00~16:00
 参加者:小学生から一般 11名
サポーター・教育普及グループ活動
 場所:OPAM 2Fアトリエ・体験学習室
 [オリエンテーション]
 日時:2023年4月9日(日)14:00~16:00
 参加者:15名
 [ワークショップサポートのために]
 日時:2023年5月21日(日)14:00~16:00
 参加者:18名
 [意見交換会]
 日時:2023年6月11日(日)14:00~16:00
 参加者:13名
 [ワークショップ材料整理]
 日時:2023年7月23日(日)14:00~16:00
 参加者:16名
 [紅花解体]
 日時:2023年8月27日(日)14:00~16:00
 参加者:18名
 [ぼわんぼわん修繕作業]
 日時:2023年9月17日(日)14:00~16:00
 参加者:12名
 [ワークショップ片付け]
 日時:2023年10月22日(日)14:00~16:00
 参加者:13名
 [ワークショップ準備、木口版とテンペラ画を視る]
 日時:2023年11月19日(日)14:00~16:00
 参加者:12名
 [ワークショップ準備・橙帽子制作]
 日時:2023年12月23日(土)14:00~16:00
 参加者:10名
 [ワークショップ材料整理]
 日時:2024年1月21日(日)14:00~16:00
 参加者:12名
 [ワークショップ準備]
 日時:2024年2月18日(日)14:00~16:00
 [ワークショップ準備]
 日時:2024年3月24日(日)14:00~16:00



OPAM教育普及のFacebook、Instagramやってます! 見てね!!



OPAMのYouTubeでも教育普及の活動が見られます。



ひじゅつって、すげえ! 2023-2024
 これをやってみよう!

企画・制作・発行
 公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団
 事務局
 大分県立美術館 学芸企画課 教育普及室
 大分市寿町2番1号 TEL.097-533-4502

執筆
 榎本寿紀 大分県立美術館 学芸企画課 教育普及室 室長

編集協力:ラルゴ 井上裕子
 デザイン:ディ・エア 佐々木ツヨシ
 印刷:株式会社 明文堂印刷

2024年2月発行
 ※本誌に掲載の記事・写真・イラスト等の無断転載は禁じます。

